

苫小牧民報

8月27日
月曜日

発行所 苫小牧民報社 〒053-8611 苫小牧市若草町3丁目1番8号 代表電話 0144(32)5311

求む!売却不動産
苫小牧/千歳/恵庭
宅地建物取引士・不動産コンサルティングマスターにおまかせ

北海道知事免許第(11)第3246号 お問い合わせは 流通事業部
株式会社 駿河 (0123) 42-1555
本社/千歳市千代田町6丁目7番地(駿河ビル)

あすの苫小牧

9時 15時

28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)
曇	曇	曇	曇	曇	曇
雨	雨	雨	雨	雨	雨

胆振・日高

(波の高さ) 高い やや高 多少

架け替え工事が行われている緑跨線橋(ドローンで撮影)

室蘭開建「少しでも早く利用可能に」



室蘭開発建設部による苫小牧市の国道276号線跨(こ)線橋架け替え工事が順調に進んでいる。昨年12月の着工から9カ月近くたち、「ほぼ予定通り」と室蘭開建苫小牧道路事務所。道路を拡幅し車両通行の円滑化などを目指した工事で、市内中心部の鉄北と鉄南をつなぐ新しい跨線橋の供用開始は来年12月に予定。同事務所の萬直樹所長は、「2年に及ぶ跨線橋の全面通行止めに伴う影響を踏まえ「少しでも早く利用できるように工事を進めたい」としている。



工事はほぼスケジュール通りで、今年度は地盤沈下防止と新たな橋脚を設置するためのくい打ちに向け、地面に硬化剤を注入する地盤改良を実施。鉄道付近の橋脚撤去は、JR北海道が事業者間の協定に基づいて夜間に行つて

昨年12月5日に始まった工事は総事業費は約50億円、初年度の2017年度は約5億4000万円、18年度は約24億円の事業予算を組んで実施。19年度は21億円程度の予算確保を目指している。旧跨線橋は片側1車線で幅員12だったが、新たな橋では幅員17の2車線にし、JR室蘭線を挟んで中心部の南北を行き来する車両の通行円滑化を図る。また、橋の頂上部面側の70%区間にしかなかった歩道は、700%全区間の両側に設け、利用者の利便性を高める。工事は地元3社を含む建設業者4社が請け負い、旧橋の道路部分や土盛りなどは既に撤去。現在、コンクリート製の橋桁や橋台、橋脚などを取り壊して取り除く作業を進めている。

国道276号
緑跨線橋

架け替え工事順調

供用開始は来年12月予定

苫小牧

19年度は新橋の本体建設工事を進める予定で、萬所長は「計画上では来年12月の供用開始を予定しているが、近隣住民の要望などを踏まえてできるだけ早期の工事を完了させたい」と話している。